

ダブルインパチェンス “ムシカ&ティオガ&シルエット”

*科名：ツリフネソウ科 *属名：ツリフネソウ属

*性状：多年草

*原産地：南アフリカ

- これまでの八重咲きインパチェンスより花持ちが非常に良く、輸送時の落花が比較的に少ない品種です。
- 分枝がよく、株がきれいにまとまります。
- 耐病性に優れています。



～ダブルインパチェンスの“上手な”管理方法～

【販売店様へ】直射日光を避けて、半日陰の場所で管理しなければ、葉焼けをしたり、葉が、黄化してしまいますので、十分に気を付けてください。極端に乾燥させたり、肥料切れを起こしても、やはり、葉の黄化につながります。極端な乾燥を防ぐためにも、9 cmポットより10.5cmポットをお奨めします。

【購入されたお客様】直ちに、おおきめの鉢に植え替えることをおすすめします。目安としては、30 cmのボール鉢(素焼き)に3～4株です。この時、気を付けたいのは、混色で、植えないことです。混色で植えてしまうと、品種による生育の違いがあり、成長してからのバランスが悪くなってしまいます。もし、混色で、植えられる場合は、生育の似たタイプの品種と組み合わせて植えられると良いでしょう。

置き場所として、最適なのは、カーポートの下の半日陰や、バルコニーなどで半日陰になる場所が良いでしょう。寄せ植える場合は他の植物の陰になるように組み合わせると良いでしょう。水やりは、一般的に表土が、乾き気味の頃にたっぷりと与えます。花柄は、なるべく、こまめに取り除き、株が、大きくなりすぎたら、思い切って刈り込んでください。病気には、比較的強いほうですが、2、3日も雨が続くような時には、雨よけが必要です。(ほとんど、の植物にあてはまります。) それでも、病気が、出てしまった時は、発見したら、なるべく早めに、取り除き、市販の殺菌剤を散布してください。害虫で、特に注意しなくてはならないのは、スリップス類でアザミウマなどが、大量に発生しても肉眼では、ほとんど確認できないので、知らないうちに被害が広がってしまいます。庭にある他の植物にも、このアザミウマなどは、寄生していると思われるので、やはり、市販の殺虫剤で定期的(2週間に1度位)に駆除してください。

- もっと詳しい情報は鳥山ガーデンのホームページまで：<http://www.toriyama-garden.com>